

## 「幽体離脱(Astral Projection)」

肉体からもう一つの体が抜け出す経験を指す言葉として、古くから知られてきた呼び名である。人の肉体も意識も物質の世界に住んではいるが、活動している意識そのものは物質とはいえない。

意識は物質とは違う次元に属している。その次元はアストラル界と呼ばれた。アストラルの次元と物質世界の次元は、同一空間に重なって存在していると考えられている。それは異なる周波数の電波が、同じ空間にあるようなものだと説明される。二つの世界の姿形はよく似ているが、たとえ似ていても別の世界である。幽体離脱はそのアストラルの世界に、意識を投射(プロジェクション)するという考え方。

## 「体外離脱(Out of Body Experiences)」

ロバート・モンローが同体験のことを世間に広めるに当たり、オカルト色を払拭するために作った言葉だというのが彼自身の説明だが、ロバート・モンローの著作には、死後の魂を救済するために霊界で活動する話や、謎の知的存在インスペックとの遭遇といったオカルト話が満載である。

医学ではOBE (Out of Body Experiences・体外離脱体験) は、離人症の事を指す事もあるが、離人症と体外離脱はまったく別物である。

また科学的には幽体が肉体から分離する様子は観測されないから、体外離脱と呼ぶべきとの主張もあるが、幽体離脱は別次元に離脱しているのであって物質世界に離脱しているわけではない。